

【組合の概要】

千葉県貿易協同組合は、昭和35年2月、県内中小企業の輸出マインドの高揚と本県の輸出の振興を図ることを目的に設立されたが、時代の移り変わりの中でその主体は輸出から輸入に移行してきた。昭和53年5月に成田空港が開港し、同時に中央棟4階に「千葉トレードセンター」を開店、その後、平成4年12月には第2ターミナルビル4階に「ちばぼうきょう」を開店し、組合員の取扱商品、県産品を展示、販売する共同販売事業を実施している。その他の事業としては①貿易振興事業②取引斡旋に関する事業③貿易相談事業④資金斡旋に関する事業⑤組合情報化促進事業⑥経営強化事業等を実施している。本年1月の理事会で理事長に選出された横山吉雄氏は、当組合10代目の理事長になる。

【理事長会社概要】

横山香料株式会社は、食品香料でもパンや菓子の香料を主に取り扱う会社で、取材させていただいた塩浜工場は、工場内に研究開発室や営業総務部もあり、機器分析室には、ガスクロマトグラフやファイ等の米国製専門分析機器やテストサンプルが所狭しと並んでいた。研究開発専門の専門家は4名、品質管理者は6名。食品添加物なのでその扱い

千葉県貿易協同組合

横山吉雄理事長



◎よこやま・よしお 昭和25年早稲田大学卒業後家業に従事、同29年法人改組と同時に取締役に就任、同52年代表取締役社長、平成18年代表取締役会長就任。平成19年千葉県貿易協同組合理事長、本会理事。78歳。

香りに託す夢 健康で文化的な生活の創造

には厳しい検査体制が求められる。匂いには特許や工業所有権がなく有名なシャネルの19番についても同様のこと。また、その名称についてもシャネル社のテストサンプル19番目に並んでいたの

田である。平成2年より市川市の福祉施設にクリスマスケーキを17年連続で贈呈し続けている。

その名称が付いたとか。平成5年より山武郡横芝光町で成田工場が稼働している。本社は東京都千代田区内神

主な取引先は、山崎製パン(株)、フジパン(株)、伊藤製パン(株)、(株)木村屋、(株)神戸屋、(株)銀座コージーコーナ、(株)洋菓子のヒロタ等、大手製パン、菓子製造業者が名を連ね、当社の製品は8割が食品向けとのことである。なかでも山崎製パンは、取引割合も多く長年の大口得意先であり、「ダ

千葉県貿易協同組合

所在地 千葉市美浜区中瀬2-6
WBGマリブイースト23階
代表者 横山 吉雄
組合員数 89名 出資金 123万円
職員数 12名

ブルソフト」などに山崎製パンの国内32工場で横山香料(株)の香料が使用されている。また近年オリエンタルランド、カネカ食品との取引が増加している。

【横山吉雄理事長の横顔】

横山理事長は、横山香料株式会社の3代目の社長であり、平成18年4月より次女の千秋さんが社長に就任している。現在、代表取締役会長であり、千葉県貿易協同組合では昭和63年から理事、平成14年から副理事長を歴任している。当組合理事長の他、日本香料工業会常任理事、日本香料協会理事の要職にもある。「香料は一瞬にして立ち昇りはかなく消えていく美」であり「モーツァルトのように香りたい」という会社案内の一節には横山会長の香りに対する真摯な思いを感じる。

趣味を伺ったところ、以前はゴルフであったが、現在バラ園芸や読書、音楽とのこと。健康で文化的な生活と日々研鑽の経営理念は横山会長ご自身のことなことも知れない。

